二〇一七年度

千葉県公立高校入試問題（前期）

五〇分
一〇〇点

（注）解答する際に字数制限がある場合には、句読点や「　」などの符号も字数に数えること。

一

これから、若葉高校の修学旅行の候補地発表会に向けて、大山さんと牧野さんが「発表用メモ」をもとに、スピーチの練習をしている場面と、それに関連した問いを四問放送します。次の「発表用メモ」を見ながら放送を聞き、それぞれの問いに答えなさい。

「発表用メモ」

○候補地　「京都」
○理由
(1)　伝統文化に触れられる
・世界遺産の歴史的建造物（例　清水寺）
・博物館や資料館
（例　京都国立博物館、京都市歴史資料館）
・伝統文化の体験学習
（例　茶道体験、座禅体験）
(2)　食文化が豊か
・伝統的な食べ物（例　京野菜、豆腐）
・京料理
・和菓子

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(3)
交通の利便性がある
・東京駅から新幹線利用
・地下鉄、バスの便の良さ
・中心地は道が碁盤の目状

(1)（問いを放送します。）

[選択肢]

ア　理由の三つの項目のうち、最も大切な項目は、印象づけるために繰り返し述べるのがよい。

イ　発表会が公の場であることを意識し、聞き手に対し敬語を正しく使って説明するのがよい。

ウ　スピーチの全体像について、初めに理由の三つの項目について明らかにしておくのがよい。

エ　聞き慣れない言葉は、誰にでもわかるような、易しい言葉に言い換えて説明するのがよい。

(2)（問いを放送します。）

[選択肢]

ア　自分の主張に対する反論を想定しつつ、自分の考えを述べることで説得力を増している。

イ　断定的な発言にならないように、京都以外の土地の食文化にもより詳しく言及している。

ウ　聞き手の反応を確かめながら、「発表用メモ」に他の具体例を付け加えて説明している。

エ　「屈指」という語を用いることで、自分の主張に客観性をもたせながら結論づけている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(3)　(問いを放送します。)

[選択肢]

ア　内容を正確に理解してもらうよう、各理由項目の説明の終わりに、聞き手から質問を求めること。

イ　発表者の熱意が伝わるよう、京都の文化遺産を大切にしようというメッセージを強調すること。

ウ　聞き手に印象深く説明が伝わるよう、聞き手全体への呼びかけや問いかけを繰り返すこと。

エ　聞き手が聞いている内容を理解しやすいよう、食べ物の写真や絵を提示すること。

(4)　(問いを放送します。)

「京都の中心地は道が碁盤の目状に［①］、初めて訪れる人でも歩きやすい［②］。」

二

次の(1)～(4)の――の漢字の読みを、**ひらがな**で書きなさい。

(1)　刀を鍛える職人の技。

(2)　謹んで新年のおよろこびを申し上げます。

(3)　実績がとても顕著である。

(4)　美の化身のような女神像。

(1)	(2)	(3)	(4)
える	んで		

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三

次の(1)～(5)の——のカタカナの部分を**漢字**に直して、楷書で書きなさい。

(1) トップとの差を三秒にチヂめる。

(2) 子どもに泣いていたワケを尋ねる。

(3) 大会での連覇というシナンのわざを成し遂げた。

(4) はるかなるウチュウへのあこがれ。

(5) ここ数日の気候はまさにサンカンシオンだ。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
める				

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

四

次の文章は、中学三年生の鈴木さんが学級活動の時間に、今年度の目標について書いた作文です。これを読み、あとの(1)～(4)の問いに答えなさい。

私の今年度の目標は、みんなのために黙々と汗を①かくことです。

私は昨年、国語の時間に学んだ「A義を見て為(な)さざるは、勇無(な)きなり。」という言葉が印象に残っています。と②いうのも、学級には、誰の仕事でもないけれど、誰かがそっとやっておかなければならない仕事があります。それをやっている人が③いるからこそ、学級が成り立っていることも私はわかっていました。

しかし、今までの私は、自分がそんなことをすると、心の中でB失笑する人がいるのではないか心配になり、行動に④移すのをためらっていました。

中学校生活も最後の一年となりました。今年は、みんなのためになると思うことに、黙々と取り組んでいきたいと思います。

(1) 文章中の①～④の四つの動詞のうち、一つだけ**活用の種類が異なるもの**がある。その符号を書きなさい。

(2) 文章中にA義を見て為(な)さざるは、勇無(な)きなり。とあるが、こう読めるように次の「見(テ)義(ヲ)不(ルハ)為(サ)、無(キ)勇也。」に返り点をつけなさい。

見(テ)　義(ヲ)　不(ルハ)　為(サ)、無(キ)　勇　也。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(3) 文章中のＢ失笑するは、本来の意味ではない使われ方をしている。本来の意味として使われている最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア　彼の思いもよらない行動に、つい失笑した。
イ　彼のいつもの冗談に腹をかかえて失笑した。
ウ　私の行動に、彼はとまどいながら失笑した。
エ　私の発言に対し、彼は冷たい目で失笑した。

(4) 鈴木さんの「今年度の目標」の内容を言い表した言葉として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア　七転八起　イ　意気揚々　ウ　以心伝心　エ　不言実行

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

五　次の文章を読み、あとの(1)～(5)の問いに答えなさい。

われわれの知的探求を支えるものは何か。それは言葉である。言葉なくして、いかなる知的探求もあり得ない。そして言葉こそ、人間が他の生物に勝る最も重要な要素である。

たしかに人類と他の生物の違いとして、道具や火を使うことを挙げるものもいる。しかし道具に関していえば、猿やチンパンジーなども木の枝や石を道具として使うことがあり、また火も、それによって食物を加工したり暖をとったりするものという意味では、道具の一つと考えることができるはずである。

しかし言葉はそれら道具や火とは大きく異なるのだ。たしかに他の生物も言葉らしきものは持っている。すなわち鳴き声や身振りなどによって、個体間のAコミュニケーションをとる有様はよく観察されているし、イルカやクジラなどは水中での発生音によってかなり高度なコミュニケーション能力を持つことが認められている。そして人間の言葉もその初期段階においては叫びや合図といった、他の生物とあまり変わらぬ単純なコミュニケーションの手段であった。しかし人類が手にした言葉は、そのような目前のコミュニケーション手段にとどまらず、さらに加速度的に発展を遂げてまったく質的に異なるものとなったのである。

他の生物の言葉とはその大部分が目前で起きている事柄、経験、あるいは意思の伝達である。それは生物にとってその瞬間に起きている身体的経験にほぼ近いものにすぎない。それはいまこの瞬間の、あるいはこれから起こりうることの表現であり、意思疎通である。他の生物のもつ言葉とは、あまりにも卑近(注1)かつ［B］なものである。

しかし人間の持つ言葉がそれら生物の言葉と大きく異なるのは、その言葉が取り扱う時間的、空間的範囲があまりにも広大であることだ。それが「精神」と呼ばれるものである。

人間は世界の物や現象、出来事などに名を付けることによって、それが実際に目の前になくとも、あたかも身近にあるかのように扱うことができるのである。

たとえば「コート」という言葉がある。私はこの言葉によって目の前にあるコートを指し示すことができる。しかし言葉の本当の価値は、目の前にあるものを指示することではなくて、C目の前に「ないもの」をも指示できるということにある。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

もしこのコートが目の前になくてクロゼット（注2）の中にあったとしても、私はそのクロゼットの中にあるコートを思い浮かべることができるのだ。私はそのコートを見ることも触れることもできないのだが、しかし私は誰か人を呼んで、そのコートをクロゼットから出してもらうこともできるのである。

また私はそのコートを買ったときのいきさつ、何年前にどこの店で買ったのか、そのとき誰と一緒だったのかを思い出すこともできる。さらに私がいつか歳（とし）をとってこのコートを着なくなったとき、誰に譲り渡そうかと「いま」考えることもできるのである。

クロゼットの中にある見えないコート一つとっても、それを指示したり、またそのコートにまつわる過去や未来のことまで想起したりすることができるのも、すべて言葉によって生まれた精神のおかげなのである。

このように人間が手にした言葉とは、目の前の出来事に対応するための個体間のコミュニケーションツールというきわめて限定的なものではなく、現実には眼にもしていなければ経験もしていないような遠い場所での出来事や事物、あるいはその瞬間には存在していない過去や未来の出来事や事物までも自らの経験範囲の中に収めてしまうという、D <u>まったく質的に異なったもの</u>なのである。

（三好由紀彦（みよしゆきひこ）「哲学のメガネ　哲学の眼で〈世界〉を見るための7つの授業」より）

（注1）　卑近＝身近でありふれていること。

（注2）　クロゼット＝衣類などを入れるための押し入れ。

(1)　文章中にA <u>コミュニケーション</u>とあるが、同様の意味の言葉を文章中から**抜き出して**、**四字**で書きなさい。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(2) 文章中の［B］に入る言葉として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア　情緒的　イ　個性的　ウ　現実的　エ　写実的

［　］

(3) 文章中にC目の前に「ないもの」をも指示できるとあるが、このことについて述べた次の説明文の［Ⅰ］、［Ⅱ］に入る言葉を文章中から**抜き出して**それぞれ書きなさい。ただし、［Ⅰ］は**五字**、［Ⅱ］は**十二字**で抜き出すこと。

人間は、ものに［Ⅰ］ことで、目の前になくても、そのものを身近にあるかのように扱うことができる。このことを筆者は［Ⅱ］といっている。

Ⅰ［　　　　　］

Ⅱ［　　　　　　　　　　　　］

(4) 文章中にDまったく質的に異なったものとあるが、どのような点で「まったく質的に異なったもの」といえるのか。それを説明した次の文の［　］に入る言葉を、「範囲」という言葉を使って、**十字以上、十五字以内**でまとめて書きなさい。

人間の言葉は、［　］の出来事や事物を自らの経験範囲の中に収めてしまう点。

［　　　　　　　　　　　　　　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(5) 文章中の「コート」のたとえによって筆者が説明していることと同様の例として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア 優勝するという意気込みで臨んだ大会だったが、昨日のけがの影響から力を出し切れず、敗退して涙を流す。
イ ピアノが上手だった海外に住むいとこが、将来、有名なピアニストになって活躍する姿が思い浮かんでくる。
ウ 空を見上げると、朝の天気予報の通り、午後から雲行きが急に怪しくなってきたので、速やかに窓を閉める。
エ 大切にしていたノートがなくなっていることに気づき、慌てて探したが、学校に置き忘れたことを思い出す。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

六

次の文章を読み、あとの(1)～(5)の問いに答えなさい。

陸上の名門高校で長距離選手として将来を期待されていた眞家早馬は、右膝の骨折という大けがを負い、陸上部を休んでいた。そんな折、調理実習部の井坂都と出会い料理に没頭する。陸上部部長で早馬の親友助川は、早馬の弟で同じ陸上部員の春馬らとともに、早馬が戻ってくることを切実に待っている。次の文章は、駅伝競走大会の県予選がまさに始まろうとする場面を描いたものである。

一区のスタートまで、あと十分ほど。

全国高等学校駅伝競走大会の茨城県予選。そこまで大勢の人が観戦に来るわけではないが、それでもコースに沿う形で観客が集まっている。それに混じって地元ラジオ局やテレビ局のスタッフが機材を持ってうろうろしていた。

その中に、早馬の姿を見つけた。春馬のスタートではなく一区と二区の中継地点で、最後の一番苦しいところで声援を送るつもりなのだろう。

「早馬」

少し声を大きくして、彼を呼んだ。助川の呼びかけに気づいた早馬が、「何かあったのか?」という顔で駆け寄ってくる。

中継所近くにはすでに二区を走る選手が集まっている。三キロという短い距離を走る二区には、各校ともスピード自慢の選手を集中させる。顔を見れば名前が浮かぶ、お馴染みの連中ばかりだ。だからこそ、あまり怖くはない。

「昨日の話の続きなんだけどさ」

A<u>早馬の頬が強ばる</u>。春馬のアキレス腱のこと、助川の大学のこと、話はいろいろしたはずだけれど、さすがの親友にはどの話の続きをしようとしているのかわかるらしい。

「別に、お前に無理にもう一度走ってほしいとは言わないよ」

「じゃあ、どうした」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「井坂とずっと料理してて、何か変わったか？」

井坂都の名前に、早馬は特に驚きも戸惑いもしなかった。

「春馬が人参（にんじん）を食べるようになったよ」

我慢できず吹き出してしまった。あいつ、人参も食えなかったのか。

「そうか、よかったな」

「あとさ、自分のこともよーくわかったよ」

助川の隣に腰を下ろし、どこか清々（すがすが）しい顔で早馬は大きく息を吐き出した。

「事実を事実として受け入れる心の準備を、少しずつできた、って感じかな」

「なんだよ、事実って」

「俺は故障したんだな、とか。弟より走る才能ないんだな、とか。一回故障するだけで走るのが怖くなるくらい臆病者だったんだな、とか、いろいろだよ」

自分で言葉にしていても、心の底で目を背けていたものをきちんと受け入れることができた。そう続けた早馬は、［B］顔をしていた。

「クラスの連中とかさ、俺の前では陸上の話を避けるんだよ。故障も手術もなかったみたいに何も言わないで、何も見なかった振りをするんだ」

「確かに、そうだったかもな」

「最初はC ありがたいと思ってたけど、だんだん、それに甘えてるわけにもいかないんだって気づいたんだ。ていうか辛（つら）いんだ、それって。惨（みじ）めなんだ」

自分の膝に顎を置いて、助川は肩を竦（すく）めた。都は、見ない振りをしていたものを無理矢理認めさせる。目を背けていることを指摘して、高笑いする。嘲笑（あざわら）う。酷（ひど）い、と思うけれど、それがD ありがたいこともあるのだろう。眞家早馬のような、優しい奴（やつ）には特に。

「それでお前は、やめることにしたのか」

「ああ、やめるよ」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

彼は、諦める勇気を手に入れたのだ。自分とも弟とも違う場所を見つめて、違う道を歩いていく選択をしてしまったのだ。

「管理栄養士になるんだろ」

「スポーツ栄養士になる」

え？　一拍間を置いて、助川は顔を上げた。早馬の顔を見た。まったく同じタイミングで、早馬もこちらを見ていた。

笑った。

「自分は走らないで、それでもスポーツに携わってられるのか、正直わからなかったんだけど。この一年、陸上部離れてみてわかったよ。俺、やっぱり陸上が好きだ。陸上をやってる連中が、好きだ」

早馬に釣られるように、自分も頬を緩ませていることに気づいた。スポーツ栄養士。それがどんなものなのか詳しくは助川は知らないが、まったく別の方向へ行ってしまうと思っていた友が、わずかに、助川の視界に入る場所を走ってくれているような気がした。

大きく手を振って、声を張って名を呼べば、振り向いてくれる場所にいるんじゃないか。

「さっきの蜂蜜カステラ（注）、余ってるかな。みんな食っちまったかな」

「えっ、何、腹減ったの」

「そういうわけじゃないんだけど、走ったあと、甘い物食いたいなって思って」

口の中に、無性に先程食べたカステラを入れたい。E<u>優しい舌触りの、ふわふわの、程よく甘いカステラを。</u>

（額賀（ぬかが）　澪（みお）「タスキメシ」より）

（注）　さっきの蜂蜜カステラ＝早馬が大会前に差し入れした、手作りのカステラ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　文章中のA早馬の頬が強ばる（こわ）について、このときの早馬の心の内を説明したものとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア　本番を前にした場で無駄口をきこうとする助川に対し、けしからぬと思った。

イ　親友に、再び陸上の世界に戻ってほしいと言われるのではないかと身構えた。

ウ　今から二区を走るべき助川が、心配顔で話しかけてきたことに不安を抱いた。

エ　駅伝に出られなかった自分に、何を話すことがあるのかという怒りを覚えた。

(2)　文章中の［B］に入る言葉として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア　作り笑いを浮かべた

イ　明らかに未練を残した

ウ　悲しいくらい晴れやかな

エ　楽しくて仕方がないという

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

(3) 文章中のCありがたいとDありがたいについて、どのようなことに対して「ありがたい」のか。最も適当なものを、次のア～オのうちからそれぞれ一つずつ選び、その符号を書きなさい。

ア　早馬が心の底で目を背けてきた事柄に、あえて向き合わせること。
イ　けがや手術のあと悩んでいた早馬を、常に激励し続けてきたこと。
ウ　早馬の不幸を見なかった振りをして、早馬との会話を避けること。
エ　早馬が忘れかけていた陸上への情熱を、思い出させてくれたこと。
オ　早馬がいる前では彼のけがや手術、陸上の話をしないでいること。

C [ ]　D [ ]

(4) 文章中にE優しい舌触りの、ふわふわの、程よく甘いカステラをとあるが、ここに読み取れる助川の心情について述べた次の文の Ⅰ 、 Ⅱ に入る言葉を書きなさい。ただし、 Ⅰ はあとのア～エのうちから最も適当なものを一つ選び、その符号を書き、 Ⅱ は「近い」という言葉を使って、**十字以上、十五字以内**で書くこと。

Ⅰ と思っていた親友が、 Ⅱ と知り、うれしく、穏やかな気持ちになっている。

ア　もうこれからは走れないだろう
イ　まったく違う方向に進むだろう
ウ　一流の選手にはなれないだろう
エ　互いにはわかり合えないだろう

Ⅰ [ ]　Ⅱ [　 　 　 　 　 　 　 　 　 　 　 　 　 　 　]

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

(5)　この文章について説明したものとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア　人間関係について思い悩んでいた早馬と、その相談に乗っていた助川の心のつながりを、それぞれの視点を交えつつ描いている。
イ　親友である助川の期待に応えるため、本意ではない進路を選ぼうとしている早馬の気持ちを、早馬の視点を交えつつ描いている。
ウ　陸上競技と女友達との間で揺れ動く早馬と、そんな早馬を歯がゆく感じる助川の思いを、それぞれの視点を交えつつ描いている。
エ　自らの才能や進路について考える早馬と、その思いや決断を気にかける助川との心の交流を、助川の視点を交えつつ描いている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

七

次の文章を読み、あとの(1)〜(5)の問いに答えなさい。

ある人、時刻を知らんためにとて、(注)自鳴鐘（とけい）を求めんとするを、その妻、これをとどめていひけるは、明けくれにかくる世話のみにあらず。くるひたる折からには、その隙（ひま）を<u>Aつひやし</u>、自鳴鐘のために、かへりて［B］こと多からん。やめ給（たま）へといへば、さあらば（それならば）<u>C庭（には）鳥（とり）を飼ふべし</u>といふに、その妻、又とどめて<u>Dいひける</u>は、時刻は人のうへにあり。潮の満干もこれとおなじかるべし。自鳴鐘、鶏を便りとするは、勤めに怠るもののいたすことなりと、夫を諫（いさ）め、つひに<u>E鶏をも飼はずなりにき</u>。

（「雲萍雑志（うんぴょうざっし）」より）

（注）自鳴鐘＝室町時代に伝えられた、歯車仕掛けで自動的に鐘が鳴って時刻を知らせる時計。

(1) 文章中の<u>Aつひやし</u>を現代仮名づかいに改め、**全てひらがな**で書きなさい。

(2) 文章中の［B］に入る言葉として最も適当なものを、次のア〜エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア　時を選ぶ　　イ　時を置く　　ウ　時を失ふ　　エ　時を得る

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(3) 文章中のC庭鳥（にはとり）を飼ふべしについて、庭鳥を飼おうとする目的を、文章中から**抜き出して**、**八字**で書きなさい。

(4) 文章中のDいひけるについて、ここで妻が語った言葉に「　。」という記号を付ける場合、「　。」の中に入る言葉を**抜き出して**、**はじめと終わりの三字**をそれぞれ書きなさい。

はじめ　～終わり

(5) 文章中のE鶏をも飼はずなりにきについて、なぜ夫はこのような結論にいたったのか。その理由を説明した次の文の［Ⅰ］、［Ⅱ］に入る言葉を書きなさい。ただし、［Ⅰ］は文章中から**四字**で**抜き出して**書き、［Ⅱ］は文章中の言葉を用いて**十一字以内**で書くこと。

時刻は［Ⅰ］と同様、人の力の及ばないものなので、［Ⅱ］姿勢はよくないと諭されたから。

Ⅰ

Ⅱ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

八

下の資料は、高校生とその保護者とを対象として「高校生にとって本を読むことの効果について、どのような認識を持っているか」について質問した結果をグラフにあらわしたものである。この資料に関連して、次の〈条件〉にしたがい〈注意事項〉を守って、あなたの考えを書きなさい。

〈条件〉

① **二段落構成**とし、**十行以内**で書くこと。

② 前段では、資料から読み取れる高校生と保護者との認識の違いについて書くこと。

③ 後段では、前段の内容をふまえて、認識の違いの理由について、あなたの考えを書くこと。

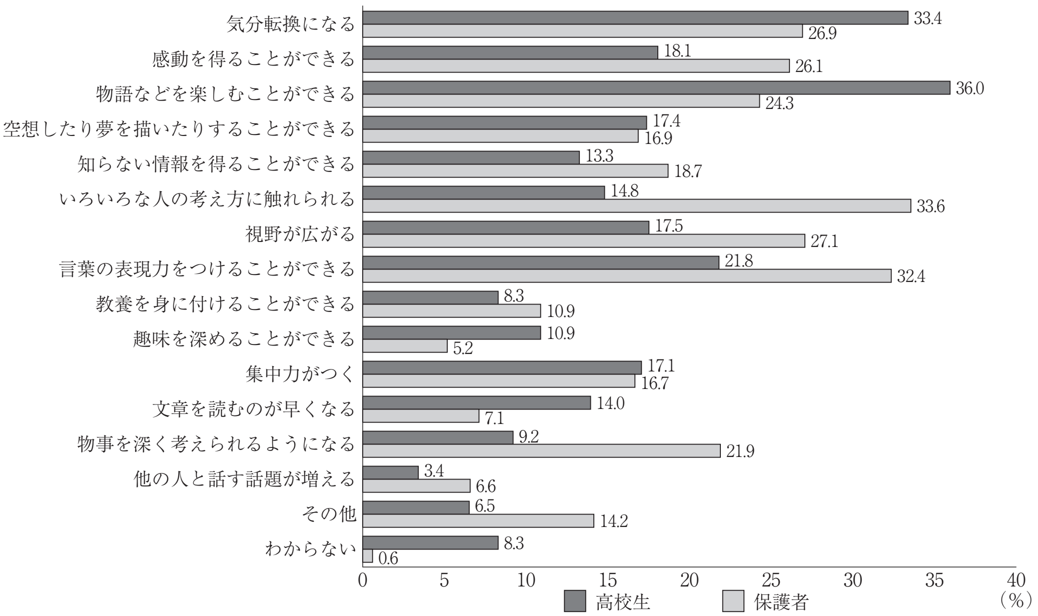
〈注意事項〉

① 氏名や題名は書かないこと。

② 原稿用紙の適切な使い方にしたがって書くこと。
ただし、〜〜や＝＝などの記号を用いた訂正はしないこと。

【資料】

高校生が本を読むことの効果についての認識



平成26年度文部科学省「高校生の読書に関する意識等調査」により作成

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

二〇一七年度 千葉県公立高校入試問題（前期）

一

解答

(1) ウ　(2) ア　(3) エ　(4) ① なっていますので　② と思います（それぞれ同意可）

解説

聞き取るポイントをおさえられるよう、メモなどを取りながら聞くようにすること。

二

解答

(1) きた(える)　(2) つつし(んで)　(3) けんちょ　(4) けしん

三

解答

(1) 縮(める)　(2) 訳　(3) 至難　(4) 宇宙　(5) 三寒四温

四

解答

(1) ③　(2) 見テレ義ヲ不ルハレ為サ、無キレ勇也。　(3) ア　(4) エ

解説

(1) 「ない」をつけると、直前の音が「ア段」の音になるのが五段活用。「イ段」の音になるのが上一段活用。「エ段」の音になるのが下一段活用。①・②・④は五段活用で、③は上一段活用である。

(2) 一字戻って読む場合には「レ点」を、二字以上戻って読む場合には「一・二点」を用いる。

(3) 「失笑する」は本来、笑ってはいけないような場面でこらえきれずに思わずふき出す、という意味。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(4)「黙々と汗をかく」は、黙って一生懸命努力し行動する、ということ。アは、何度失敗してもくじけずそのたびに立ち上がること。イは、得意で誇らしげな様子。ウは、言葉によらなくても気持ちが通じ合うこと。

五

解答

(1) 意思疎通　(2) ウ　(3) Ⅰ、名を付ける　Ⅱ、言葉によって生まれた精神　(4) 広大な時間的、空間的範囲（12字）（同意可）　(5) イ

解説

(1)「コミュニケーション」は、言葉などによって意思や感情、考えを伝達・交換するという意味。「言葉」によって自分の意思を伝えることを、「意思の伝達」「意思疎通」と表現していることをおさえる。

(2)「他の生物の言葉」とは「目前で起きている事柄、経験、あるいは意思の伝達」であり、「生物にとってその瞬間に起きている身体的経験」または「これから起こりうるであろうことの表現であり、意思疎通」というものだとある。実際に目の前にあるものだということを表す言葉が入る。

(3)「人間は世界の物や現象、出来事などに名を付けることによって…身近にあるかのように扱うことができる」と述べている。そして、人間がそのようにできることについて、「コート」を例に挙げたあとで、「すべて言葉によって生まれた精神のおかげなのである」としている。

(4) 人間の持つ言葉は「現実には眼にもしていなければ経験もしていないような遠い場所…過去や未来の出来事や事物までも自らの経験範囲の中に収めてしまう」という点で、「まったく質的に異なったもの」としている。「遠い場所」「過去や未来」に及ぶ広い「範囲」を意味する言葉をまとめる。

(5)「コート」の例は、それが目の前になくても、過去や未来のことまで含んで思い描くことができる、ということを表すために挙げられている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

六

解答

(1)イ　(2)ウ　(3)C、オ　D、ア　(4)Ⅰ、イ　Ⅱ、自分に近い場所にいてくれる（13字）（同意可）　(5)エ

解説

(1)このあと、早馬の心の内をよんで、助川が「別に、お前に無理にもう一度走ってほしいとは言わないよ」と言っていることをおさえる。

(2)この前に早馬が「どこか清々しい顔」でいることに着目する。故障したという事実を残念なことだと思いながらも、きちんと受け入れる気持ちになったときの表情を表す言葉が入る。

(3)Cは、「クラスの連中」とかの「陸上の話を避ける」「故障も手術もなかったみたいに何も言わないで、何も見なかった振りをする」ことに対して「ありがたい」と言っている。また、Dは、都の「見ない振りをしていたものを無理矢理認めさせる」態度に対して「ありがたい」と言っている。

(4)早馬が「スポーツ栄養士」になると言ったときの助川の気持ちに着目する。「まったく別の方向へ行ってしまうと思っていた友」が、「わずかに、助川の視界に入る場所を走ってくれているような気がした」と書かれていることをおさえる。

(5)故障、手術を経て自分の陸上に対する才能やこれからの進路について考える早馬と、早馬のことを気にかける助川との会話を通して、二人の心のつながりが描かれた文章である。

七

解答

(1)ついやし　(2)ウ　(3)時刻を知らんため　(4)（はじめ）時刻は　（〜終わり）となり　(5)Ⅰ、潮の満干　Ⅱ、自鳴鐘や鶏をあてにする（11字）（同意可）

解説

(1)語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は「わ・い・う・え・お」にする。

(2)「自鳴鐘」を手に入れることは「隙をつひやし」ということを表す言葉が入る。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

(3)「自鳴鐘」を求める代わりに「庭鳥」を飼おうというのであり、「自鳴鐘」を求めようとする目的と「庭鳥」を飼おうという目的が同じであることをおさえる。

(4)「と」という引用を表す助詞に着目する。「いひける」のあとの「時刻は人のうへにあり」から「と」の直前までが、妻の語った言葉にあたる。

(5)Ⅰ、「潮の満干もこれとおなじかるべし」とある。Ⅱ、「自鳴鐘、鶏を便りとする」のはともに「勤めに怠るもののいたすこと」でよくないとしていることをおさえる。

口語訳

ある人が、時刻を知ろうとするためにということで、時計を求めようとするのを、その妻がそれを止めて、「明け暮れにかかる手間だけではなく、時計が狂ったときには、時間をついやし、時計のためにかえって時間を失うことが多いでしょう。おやめなさい」と言ったので、「それならば鶏を飼おう」と言ったところ、その妻が、またそれを止めて、「時刻は人の上にあるものです。潮の満干もこれと同じようなものでしょう。時計や鶏をあてにするのは、自分の勤めを怠ける者がすることです」と夫に忠告し、結局鶏も飼わないことになった。

八

解答

(例)

資料から、高校生は、物語などを楽しんだり、気分転換したりすることを読書の効果として認識している人の割合が高い。一方、保護者は、多様な人の考え方に触れられ、視野を広げるといった効果を期待している人の割合が高く、認識に違いがあることがわかる。

この違いは、高校生が本を楽しみのために読んでいるのに対して、保護者は本から学んで欲しいということを期待しているからではないかと考える。(10行)

解説

高校生は「本を読むことの効果」について、「物語などを楽しむことができる」「気分転換になる」ということを挙げる人が多いが、

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

保護者は「いろいろな人の考え方に触れられる」「言葉の表現力をつけることができる」ということを挙げる人が多いことが資料からわかる。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。